

はくば SPF 豚農場だより

第18号 発行日 令和元年5月20日 発行者 全農長野県本部 本部長 小林 哲男 大北農業協同組合 代表理事組合長 山田 高司
北安曇郡白馬村大字北城 15917-12 TEL0261-72-2716 <http://www.hakubanobuta.com/>



JA 全農長野



ご挨拶

日頃は、はくばSPF豚農場の運営に伴う環境対策に、地域住民の皆様のご理解とご協力を賜るとともに、関係機関の方々におかれましても細部にわたるご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、農場の環境対策につきまして、平成27年度以来、一定の評価を頂いたところではありますが、昨年度は夏期を中心に、臭気の確認回数の増加が見られました。深くお詫び申し上げますとともに、脱臭装置の稼働はもとより、堆肥化促進の再検証をさせて頂いたところでもあります。

今後とも、環境対策には細心の注意で取り組みます。さらに長野県畜産事業の基地として、地域貢献にも取り組む所存でありますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

発行日 令和元年5月20日

全農長野県本部 本部長 小林 哲男
大北農業協同組合 代表理事組合長 山田 高司

1. 平成30年度の「環境対策」について

1) 農場周辺の環境調査実施状況

① 自主臭気調査の実施(平成30年7月25日)

農場周辺の臭気状況を把握し環境対策の効果を検証することを目的とし、平成24年から29年の6年間実施してきましたが、平成29年11月29日開催の「平成29年度第2回はくばSPF豚畜産環境対策会議」で、手法についての再検討を指摘され、農場周辺を巡回する手法で調査を実施しました。



午前10:00頃、坪の沢巡回の様子

巡回のスケジュール

時間	巡回地域
7:00~	事前巡回
9:30~	農場駐車場
10:20~	小谷村白馬大池駅前
10:40~	小谷村坪ノ沢
11:00~	小谷村川内周辺
11:20~	白馬村立の間
11:40~	白馬村東通
12:00~	農場駐車場
13:30~	—
17:00~	補足巡回

②緊急臭気確認巡回調査の実施

夏期において、臭気情報が増加したことに伴い、緊急の臭気巡回調査を実施しました。実施当日の天候、風向き等を考慮し、農場周辺地域の巡回を実施しました。

実施日	8:00～10:00	15:00～17:00	18:00～20:00
11月7日(水)	—	事業者	事業者
11月12日(月)	環境ウォッチャー等・事業者	—	—
11月13日(火)	—	事業者	事業者
11月14日(水)	環境ウォッチャー等・事業者	—	—

③調査の結果について

調査日において、不快な強い臭気を感じることはありませんでしたが、個人の感じ方の差異が見られました。今後も、住民の皆様との情報交換のできる場を作ることを意見として寄せられました。



2) 環境対策の実施状況

①農場内清掃の徹底

環境対策マニュアルに基づき、農場内の清掃・環境整備を継続してきました。

②気化ガス脱臭装置について

「気化ガス脱臭装置」の能力を十分に発揮させるため、定期的に設置業者によるメンテナンスを実施するとともに、農場担当者による、業務前及び業務後の稼働確認を継続して行っています。

③夏期における堆肥の集中搬出

必要最低限の水分調整剤として「戻し堆肥」の確保を考慮し、搬出の調整を行いました。

④臭気に関する情報収集の強化

環境ウォッチャー会議を「環境モニター」の方にも同席の上で開催し、情報の収集と状況確認を行いました。平成30年度は6回開催しました。

⑤情報の提供

「農場ニュース」を毎月発行とし、年1回発行の「農場だより」とともに、住民の皆様へ情報提供と場内の状況等について情報発信を継続してまいりました。

⑥臭気苦情受付窓口を拡大

昨年度の対策会議での指摘事項を受けて、臭気苦情受付窓口を拡大しました。平成30年5月21日発行の「農場だより第17号」で住民の皆様へお知らせ致しました。

⑦「はくば SPF 豚農場環境対策検討会」、「堆肥化促進技術研修会」を開催

9月20日に「はくばSPF豚農場環境対策検討会」、10月31日に「堆肥化促進技術研修会」を開催しました。

- ・7月からの猛暑により家畜の飲料水が増加したことによる生堆肥の水分増加が堆肥の発酵を抑制したとの指摘を受けたことから、水分調整剤の「もみ殻」を管内水稻農家から農場へ搬入しました。
- ・県農業技術課による勉強会の後、農場内で堆肥水分等の分析および堆肥の状況について指導を頂きました。比重については理想的な状況であり、一次発酵、完成品の臭気もほぼ無い状況を確認して頂きました。



9月20日の検討会の状況



10月31日の堆肥化研修会での確認の状況

2. 今後の対応について

- ア) 農場では場内清掃を行うとともに、既存の気化ガス脱臭装置、炭脱臭装置、水シャワー脱臭装置の能力を最大限に発揮させる状態を保つことで、臭気軽減に努めます。
- イ) 堆肥搬出においては、水分調整剤としての「戻し堆肥」の確保、搬出の作業体系及びスケジュール等については、臭気抑制のため最大限の配慮を行うとともに、攪拌時における臭気の対応策について検討します。
- ウ) 住民の皆様から情報提供を頂くとともに、事業者からも住民の皆様及び関係機関へ情報提供を行うことで、情報の共有化に努めます。



平成30年12月21日 小谷村役場にて「平成30年度 はくばSPF豚畜産環境対策会議」が開催されました。事業者による1年間の対応と今後の環境対策への取り組みを報告させて頂きました。

